

留岡幸助 とよまさ 社會事業家。文久四年二月四日備中國生れ、昭和九年二月五日歿（八六四―一九三三）。舊姓吉田。號一白庵、薇峰、薇峰生。明治二十一年同志社神學校卒。牧師を経て教誨師となり、免囚保護・少年感化事業に從事。

著書に、『男女學生氣質（附學生消復法）』（合著・新八雲論社―高島大圓編、明治二十九年二月）二十九日鶴聲堂書店・井列堂）、『女宮母徳と其風化』（三版・明治四十年五月十五日鶴聲堂書店）、『心のこゝろ』（合著・愛友會、大正六年十月）日明文堂）、『神の委託事業』（昭和二十五年十一月五日教文館）『日本宣教選書』（等）他、牧野虎次編『留岡幸助君古稀記念集』（昭和八年十二月）二十日留岡幸助君古稀記念事務所）、今井新太郎編著『少年の父留岡幸助先生』（昭和十八年十二月）日教文館）等がある。

